発行所　加治木町役場
発行人　岩元房友
編集者　中元邦夫
印刷所　吉屋印刷所

新年の御挨拶

加治木町長　緒方明男

一九五八年の新春を迎えるに当り、謹而町民の皆様に御挨拶を申し上げます。

昨一九五七年は、町民各位の絶大なる御指導御鞭韃のお蔭で、大過なく町行政に当らせて頂きました事を心から深く感謝申し上げます。

国県関係におきましては一、林務砂防工事の完工及び継続事業、二、網掛川の護岸工事、三、崎森川の補改修、四、蒲生田通りの補装工事、五、国道岩原地区の補装及拡幅、六、裁判所の新築、七、電報電話局の一部新築着工等々町民の皆さんが多年希望せられ、又心配下さった問題が次々に解決されました、この事は皆様の御熱意と国県関係当局の本町に対する並々ならぬ御同情御援助の賜と只管感謝いたしております。町自体の関係におきましては一、公営住宅四十戸を県下第一位の良成績にて何処の町村よりも早く完成し、二、龍小の新築鉄筋二階建着工、三、城の坂線及び中野、小山田、桃木野、辺川等々道路補改修に全力を注ぎ完工及び継続中、四、道風道路一〇〇万の起債による着工、五、竹下橋の改補修、六、新興、黒川両地区干拓堤塘工事関係の前進的解決、七、商工会の発案による市街地美化への積極的推進協力、八、向江町地区の街路樹の植樹、九、上水道事業の完遂、十、第二次温泉試掘の開始（十一月十九日）等々枚挙に暇がないので省略しますが、はれがましくも自慢ぶった事にはなりますが治績の面に於いては、若干みる可きものがあったかと存じます。

三十三年即ち新年以降には、錦江、永原両校舎の完全施行、黒川海岸の護岸工事、崎森川の改補修、別府川（これらは三十二年一月以降施行三月まで完工）、飯野加治木線の補装及び拡幅、養老院の建設問題等々難問題が山積しております。が、精神誠意着実に努力を傾注し、且つ、成果をおさめたいと切に念じております。なお、弓削地区における固定苗圃の問題及び年末二十六日概ね決定した高級竹ミス工場（アメリカ向輸出品工場）の事業開始も軌道に乗せ、もって辺地開発及び本町失業者救済事業の推進並に本町産業振興に寄与せんと大いなる希望をもっております。しかし、こうした治績の陰に、議会議員各位及び本町監査委員を始め、教育及び農業外各委員皆々様の真摯なる御努力御協力を見逃すことも出来ません。之等の方々と町民各位の御蔭様だと申上げる以外言葉はないと存じます。新年を迎えるに当り物故された田中、立山、中村議員御生前の御努力に満腔の敬意を表し、且つ、御冥福を改めて御祈念申上げると同時に、先般役場を御去りになった村橋様始め各位の御家庭の御幸福と御健康を切に祈らせて頂きます。

すべての町民の皆々様が本年度も旧年に倍して御指導御鞭韃御努力下さるようお願い申し上げつつ意をつくさぬまゝ御挨拶を終ります。

共甘同苦

教育長　市来朴

本年は戌年、然し既に犬は人工衛星に乗って、地球を回り、世界各国に挨拶廻りをすましている。手廻しの速いことだ。

今年こそ、この積極的な犬の行動に似て、行政の推進を計りたい。

永原小学校、錦江小学校の鉄筋校舎の完成は断じてやりとげたい。今年こそ絶対的な背水の陣だ。

龍門小学校の鉄筋校舎の落成も間近に控え、中野校鎮守校の木の香も高き新校舎と共に、町内の校舎の新改築が、町教育進展を象徴している。

今年こそ、この積極的な犬の行動に似て、行政の推進を計りたい。

永原小学校、錦江小学校の鉄筋校舎の完成は断じてやりとげたい。今年こそ絶対的な背水の陣だ。

龍門小学校の鉄筋校舎の落成も間近に控え、中野校鎮守校の木の香も高き新校舎と共に、町内の校舎の新改築が、町教育進展を象徴している。

年頭のことば

町議会議長　永吉武治

昭和三十三年の輝しい新春を謹んで寿ぐとともに、町民の皆様の御幸福を心から祈念申し上げます。

かえりみるに昨年は、わが国が国際連合に加入を認められて、愈々世界の外交舞台で活躍する機会が与えられたという意味では、誠に輝しい門出であったと思うのでありますが、又一面世界景気の横ばい状態の影響もあって、国際収支は好転せず金融や財政上の引き締政策によって、神武景気も何処か吹き飛んでしまうと云う暗い面もあり、なお本県は気候不順や、台風の被害による農産物の減収等経済的打撃は大きく、従って購買力の減退による商工業者の経営も思はしくなく誠に遺憾に存じます。

今や人工衛星がソ連によって打ち上げられ、わが国でも東海村に原子の灯が点ぜられ科学万能の世紀が訪れ、人間の宇宙旅行が可能となるのも遠くないことと思はれます。

地方行政については、現行制度による地方自治法が施行せられて、茲に十年、新自治制度の安定化、新市町村建設及び地方財政の確立等への努力で、再建日本の基盤たる地方自治制度も地固めを終り、国の復興と自治の近代化に前進しつつあることは誠に慶びに堪えませんが、本町の実情を直視するに、財政の窮迫は町民の経済福祉への施策が充分に出来得ないことは遺憾に存じます。

今年こそは、機能を充分発揚し、以て町民の福祉増進のため、あらゆる施策を講じて町の発展に寄与すべく邁進せんとの決意を新たにする次第であります。

町民の皆様の絶大なる御協力と御鞭撻とを懇願し新年の挨拶といたします。

＝流感予防＝

1・体を疲ろうさせない。
2・人ごみをさける。
3・ウガイをする。
4・マスクをかける。
5・早く受診する。

出初式は一月九日

新年号

全戸一枚配付

加治木町の人口

―32年(12月1日現在)―

◉ 人口　20・427人

（この数字は常住人口調査によるものであすまり）

男　9・841人

女　10・586人

◉ 世帯数　4・756戸

◉ 11月中の出生死亡

	出生	死亡	自然増
男	17	5	12
女	11	5	6
計	28	10	18

▽メートル法・尺貫法・ヤードポンド法の計量単位を統一△

昭和三十四年一月から メートル法が完全実施されます

現在私達の日常生活では、計量の単位としてメートル法、尺貫法、ヤードポンド法の三系統が無秩序に使はれています。私達はふだんその不便をあまり感じないかも知れませんが、実際にはこれらの換算のために余計な神経や労力を使い、時間の無駄を出し、職場においても事務能率、産業経済の分野等でも不便であり、たえず有形無形の損害が繰返されております。

これらの系統が統一されない限り計量器も色々備えねばならず、不用の経費を費しております。そして何よりも問題なのは、このような混用と混乱がメートル法で行はれた学校教育の効果をいちじるしく弱め、計量思想の普及によつてのみ達成される生活や産業の合理化を阻害しているといふことであります。

このため計量単位の統一は、現下最も緊急を要する問題とされ、政府においては明治十八年メートル条約加盟以来計量単位をメートル法に改めるべく、いろ〳〵の措置をたて〵きており、すなわち大正十年、度量衡法の根本をメートル法に改めさらに昭和二十六年公布された計量法では、昭和三十三年末までメートル法に単一化することになつて、いよいよ数十年来の懸案が解決されることになりました。

ながく慣れ親しんできた尺貫法からメートル法に切換へる事は大変ですが、メートル法に統一されますと、当然不便や不合理や無駄が一掃され、それがさらに生活、文化産業等の発展の基礎となることは明であります。

最初のうちはなれないために、皆さんも相当わづらはしい思いをされることでしようが、いずれも昭和三十四年からはメートル法一本になるので、そのときになつてあはてないよう、完全実施される日までメートル法に慣れるよう各人準備をとゝのえておくことが必要です。

考える農業への転換（七）

完全なる病害虫防除は優良なる防除機具の整備から

最近農業は日進月歩の発達をなし世界の水準に達した、パラチオン剤を始めモンゼツト、殺草剤等と新しい農薬が研究され毎年次々と市販されております。

これほど農薬は発達し農家の皆さんが毎年使用する反面病害虫は年々発生の密度を増し、農家の現金支出の中肥料につぐ負担になつていることは動かされない事実であります。

最近パラチオンの効果が少いとか、農薬の濃度がうすいのではないか等との話を耳にするのですが、一部の問題を起した不良農薬は別として、農林省の規格に合格した農薬であれば、農薬が効かないのではなく、問題は別にあると思ふ。撒布時期の見きわめ方、濃度と撒布薬量との問題があるが、案外軽視され勝ちになつておる防除機具の問題を考えて見る事も大切なことでしよう。

加治木町内の防除機具の現況を見ると、大方全自動の背負式の噴霧機が導入され、高圧及び動力噴霧機が殆ど導入されておらない。

その原因は色々ありましようが、高圧や、動噴を極力部落なり地域の人々で話し合つて共同購入をなし、共同で薬剤撒布が行われるようにならねば防除効果を上げることは困難でもろう。

何故かと言えば、背負式あたりで薬剤を撒いても、稲の重さの百万分の二、三%位しか稲に着いておらない、動力であれば四〜五%は着いており稲のメイ虫を殺すには、少くとも四、五%は稲に着かせることが大切であります。

かりに稲の重さの百万分の三%と言ふこと、一反歩に一斗かけたとき三合だけが稲に着いておる計算になり四斗のときは一升二合が着いて他の三斗八升八合は水面なり空中に撒布する勘定になる

これから噴霧機を購入されるときは、良く吟味すべきでありましよう。

次に、撒布機でありましても終戦直後購入されたものは、殆どじゆ命が来ており、更新の時期でありますので、新しく購入されるときは、農協や普及員に良く相談されて性能の良いのを選ぶべきであります。旧来の撒布機には、粉を飛ばすだけのものが多く稲の葉に薬を着ける工夫が足りない

性能の高い防除機具を共同で利用し、今後一層発展する農薬を上手に撒布してこそ、作物を病害から守る道でもありましよう。

加治木地区農業改良普及所長　松岡登記夫

……つゞく……

森林組合通信

農家の皆さん、明けましておめでとうございます

さて、新春と共に草木も生長を始めます、そこで良い山を作る為に造林準備を進めましよう。今年は造林終了期間も二月中旬となつていますので、正月の農閑期を利用して造林準備を進めて下さいい。特に、松は餅をたべながら植えよと昔から云はれますので、早目に準備して下さい。なお、苗木配布は一月中旬を予定していますのでこれも準備を進めて下さい。

町円芸品評会に 優勝旗を寄贈

加治木町円芸振興のため、マツオ種苗加治木営業所長池田銀治氏より優勝旗一旒を戴きました。

この優勝旗は先般行いました町円芸品評会当日贈られたもので、一応総合の優勝旗として、円芸研究団体、円芸組合を主体に授与されることになつております、その点お互い生産、出荷に頑張つて下さい。贈つて戴いた御本人に対しては深く感謝いたします。

本年度こそ各種会合の時間を固く守りましよう

（公民館）

もと加藤製作所に勤務されていた方へ

加藤製作所（長崎市）は、終戦前軍需会社法による指定事業場として、九州各県から応徴されていた事業場でありますが昭和二十年八月九日原爆投下により、この事業場で作業中罹患死亡した者は約四〇〇名だといはれておりますが、この方々に対しては弔慰金が支給されることになつておりますので、皆さんの中で該当者がありましたら町役場民生課に御連絡下さい。

なお、詳しく知りたい方は厚生係に照会下さい

山住さんから母子寮へ愛の贈物

母子寮の子供さん達に贈つて下さいと、加治木保健所勤務の山住親雄さんから去る十二月二十六日金一封とバトミントン一式、フツトボール一個が町長にとどけられた、贈物はたゞちに子供達におくられたが、子供達は「おぢさんほんとにありがとう」と大喜び……感謝している。

町福祉協議会に香典返しを寄附

次の方々から忌明お礼として町福祉協議会たすけあい資金へ多額の御寄附を戴きました。

御芳情ありがたく拝受し、町民の皆様と共にお礼申上げたいと存じます

寄附者御芳名

八木三夫（岩原）
藤崎ナルヱ（垂之口）
神田一男（朝日町）
〃　二三年（〃）
犬童ノヱ（港町）
宮田　実（楠園）
中村他亀（須崎）
畠中新蔵（布越）
豊留ミツ（西塩入）
古川盛重（南塩入）
小原親志（宮田ケ平）
上村フグ（吉原）